

経営比較分析表（平成29年度決算）

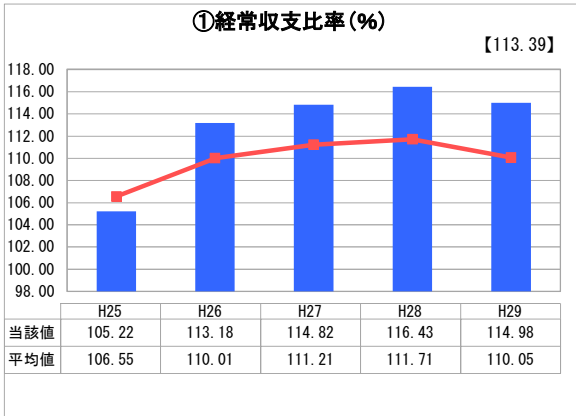
群馬県 みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.28	99.70	2,480	

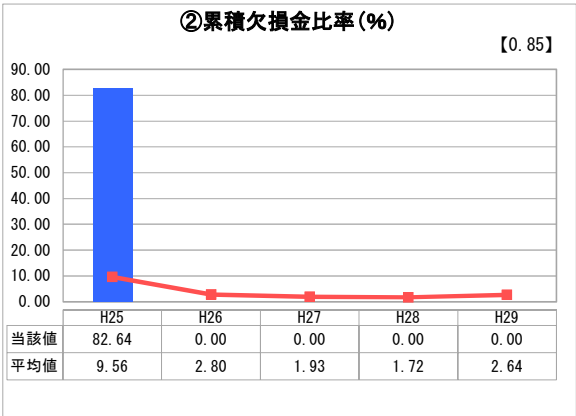
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,447	781.08	24.90
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,635	205.51	90.68

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

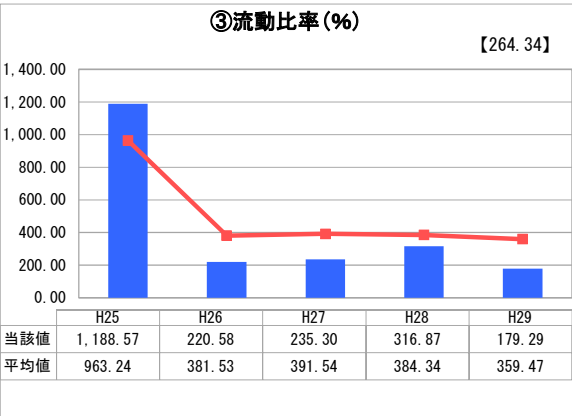
1. 経営の健全性・効率性



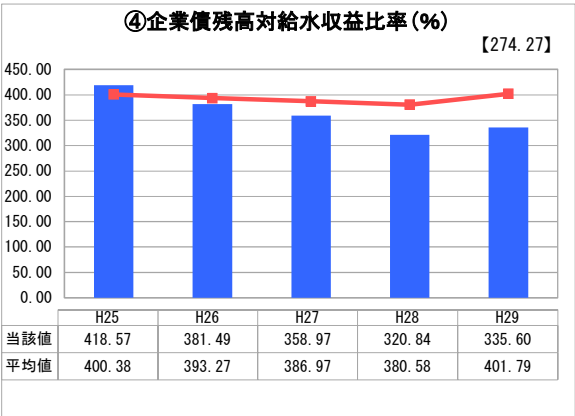
「経常損益」



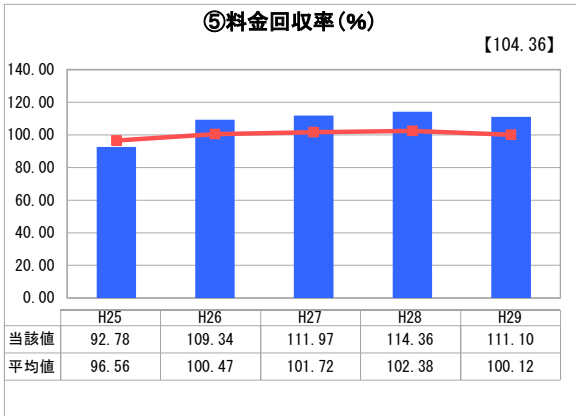
「累積欠損」



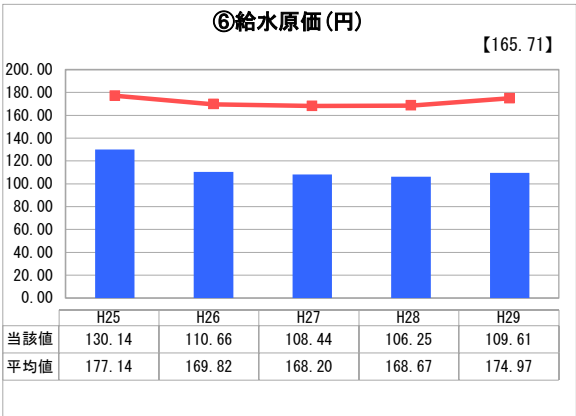
「支払能力」



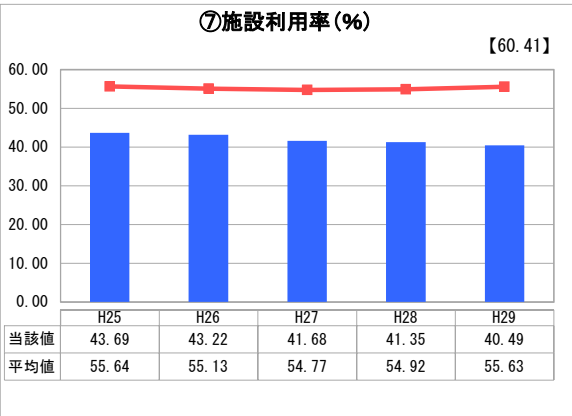
「債務残高」



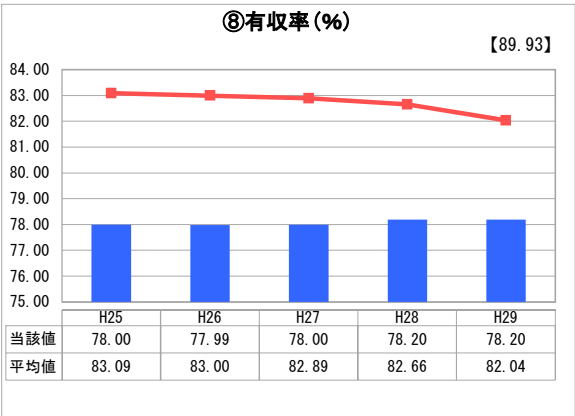
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

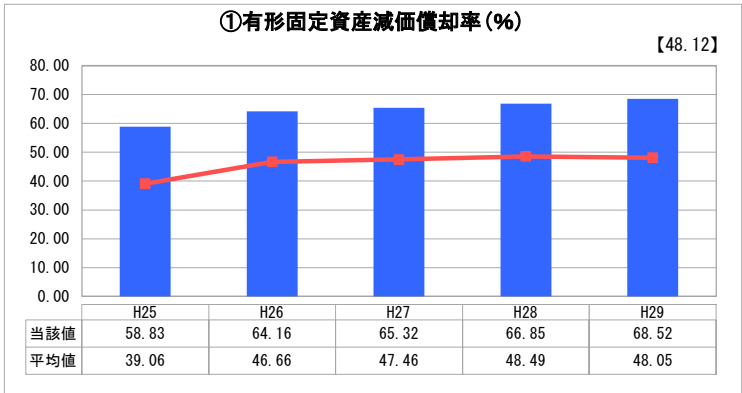


「施設の効率性」

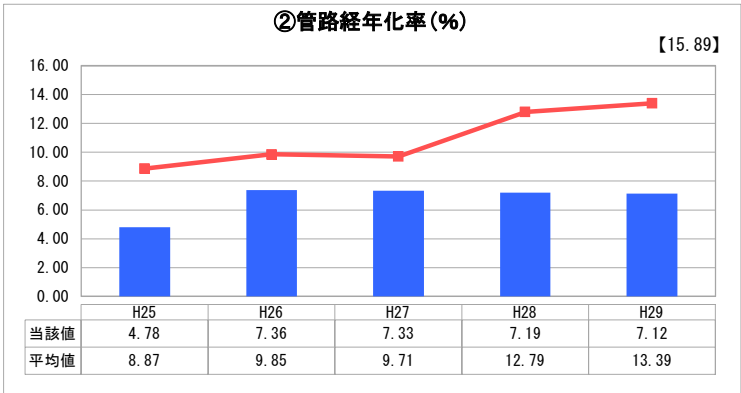


「供給した配水量の効率性」

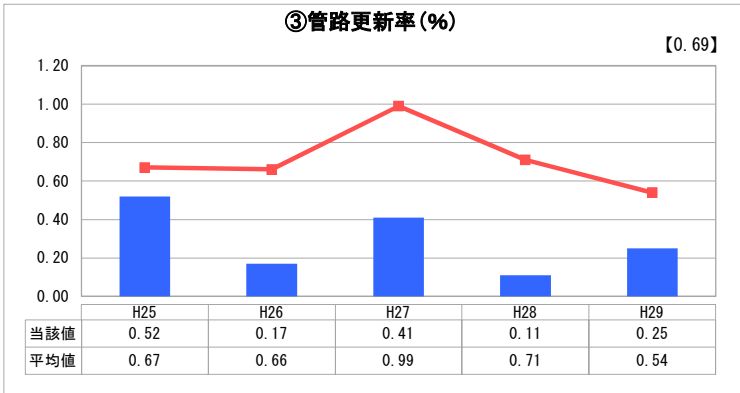
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は安定しているが、収益は減少・費用は増加傾向にある。引き続き費用削減に努める。
②累積欠損金比率は0%ではあるが、人口の減少に伴い給水収益は毎年減少している。また、施設の老朽化により今後の維持管理費は多額になることが見込まれるため、計画的な維持管理が求められている。
③流動比率は下がり、類似団体や全国平均と比較しても低い数値となった。主要事業費の支払いが遅れたことが要因であり、既に支払い済みのため、短期的な債務に対する支払能力に問題は無いと考える。
④今年度主要事業に対する企業債借入額が多かったため、企業債残高対給水収益比率が上昇した。今後とも比率と投資規模を考慮した上で企業債の借入を検討する。
⑤料金回収率は安定している。類似団体や全国平均と比較しても高い水準を保っている。
⑥施設が広範囲に点在していて維持管理には不利な条件だが、給水原価は類似団体や全国平均より抑制されている。
⑦施設利用率は毎年下がっている。当町は給水面積が広く、多施設となっているため非効率である。
⑧有収率はほぼ横ばいであるが、類似団体や全国平均と比較すると低い数値である。漏水が原因と思われる。

2. 老朽化の状況について

①②③
老朽管更新計画はあるものの資金面で計画的な実施には至っていない。
耐用年数を経過した施設は複数あり、次期計画の財源確保は難しい状況である。当面は老朽化した施設に優先順位を付けて改修していきたい。

全体総括

類似団体と比較すると⑦施設利用率と⑧有収率が低いので、対応を検討し効率性を見直す必要がある。全体的に指標の変動は少なく安定している。今後も経営改善に努めたい。
給水収益の減少、施設の老朽化が進む中で、効率的な事業展開が求められている。水需要の動向を踏まえ老朽化した施設の更新、財源確保の関東を進め、水の安定供給を目指す。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。